

【地域活性化総合特区】ふじのくに先端医療総合特区

[静岡県・山梨県]

平成23年12月22日指定

【目標】

・がん医療の飛躍的発展

革新的ながん診断装置・診断薬の研究開発の拠点化を進め、国際競争力を有する製品を迅速に世界へ提供

・地域企業の活性化と雇用創出

医療機器や部品・部材を提供する地域企業による産業クラスターの形成

<目標値（令和3年度から令和7年度まで）>

- 1 がん診断装置・診断薬の開発：累計5件（うち両県共同製品開発1件）
- 2 その他医療関連製品の開発：累計65件（うち両県共同製品開発5件）
- 3 医療分野に活用可能な山梨県企業の高い技術力について、静岡県企業がファルマバレーセンター及びメディカル・デバイス・コリドー推進センターに相談した件数：年100件
- 4 医療機器産業人材の育成人数（静岡県・山梨県）：累計465人
- 5 新規医療機器製造業登録・製造販売業許可取得件数（静岡県・山梨県内）：累計40件
- 6 医療関連製品開発支援件数（静岡県・山梨県）：累計60件
- 7 製造業等の企業立地件数（静岡県・山梨県内）：累計365件

【規制の特例措置を活用した主な事業】

本特区から提案した「薬機法の責任者資格要件の緩和（認定講習修了を一定の従事経験と同等とみなす）」については、**全国的な緩和に展開**

- ・静岡県では「富士山麓医用機器開発エンジニア養成プログラム(沼津高専)」を開催（**全国初の認定講習**）
→令和6年度までに**133人が修了、うち68人が責任者資格要件を取得**
- ・山梨県では「医療機器産業技術人材養成講座(山梨大学)」を開催（**令和4年度から認定講習**）→令和6年度までに**197人が修了**
⇒**両講座は静岡・山梨両県で相互認定**（令和5年度～）

➡ **これらの措置が後押しとなり、これまで地域企業54社が医療機器分野に参入**（令和7年3月末時点）

【金融支援措置（利子補給金）を活用した主な事業】

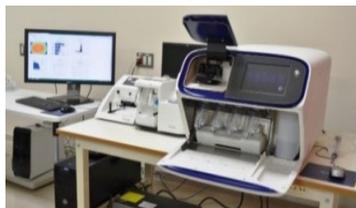
- ・医療機器等の研究開発、開発に向けた工場新增設・設備導入
- ・医療機器の部品製造機械の増設 等

これまでの活用実績：31件（令和7年3月末時点）

【取組概要】

I ゲノム医療の技術開発

静岡がんセンターが実施する「マルチオミクス解析を用いたゲノム医療の早期実現と新技術開発に関する臨床研究（プロジェクトHOPE）」により、がんゲノム医療の社会実装のための技術開発を推進



次世代シーケンサー
（プロジェクトHOPE）

II 地域企業の医療機器開発のための支援拠点

（公財）ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター（静岡県）及び（公財）やまなし産業支援機構メディカル・デバイス・コリドー推進センター（山梨県）が地域企業の医療機器産業への新規参入、研究開発および製品化・事業化を推進



ファルマバレーセンター
（静岡県医療健康産業研究開発センター）



メディカル・デバイス・コリドー
推進センター（山梨県）

III 両県の連携推進

両県企業の技術やネットワークを活用した競争力のある製品開発や海外を含めた販路開拓の推進



両県支援機関、静岡・山梨6信用金庫
パートナーシップ協定締結式（R4.12月）